

# Recovery Manager for Active Directory

Active Directoryのバックアップ/リカバリをオブジェクトと属性レベルで

間違いは起こります。例えば管理者が誤って何かを削除してしまったり、大量のアップデートによって障害が発生したりすると、Active Directory (AD) 環境に影響が及びかねません。このような事態が起きると、業務の生産性に何時間または何日も支障をきたすことになるかもしれません。また、企業収益に損害を与え、管理者としての評判にも傷がついてしまいます。このようなことを避けるには、迅速なバックアップと稼働を可能にするADリカバリツールが必要で

Quest® Recovery Manager for Active Directoryは、お使いのAD環境にとって保険のようなものです。Quest® Recovery Manager for Active Directoryによって、オブジェクトおよび属性レベルでAD環境への変更箇所を特定できるようになります。また、何が起きたのか、誰に影響が及ぶのか、何をロールバックすべきかもわかります。バックアップデータをオブジェクトおよび属性レベルで迅速に比較して変更箇所を特定し、オンプレミスAD、Azure AD、

ハイブリッドADを問わず、データを瞬時に回復することができます。

## 特長

- **ADのごみ箱** — 合理的なリカバリプロセスへ導くウィザードベースのコンソールを使用し、グラフィカルなADのごみ箱を効率的に作成できます。スクリプトを作成する必要はありません。
- **きめ細かいオンラインリストア** — ドメインコントローラーを再起動せずに、ディレクトリのオブジェクトを復元します。これにより、ダウンタイムや、ネットワークにログオンしたユーザへの影響を排除することができます。
- **比較レポート** — レポートを使用してADのオンライン状態をバックアップと比較し、バックアップ取得後にディレクトリのデータに適用された変更を強調表示します。また、さまざまなバックアップを比較することもできます。レポートには、属性を含め、削除または変更されたオブジェクトが表示されます。Change Auditorを実行している場合は、変更を行ったユーザの情報も比較レポートに表示されます。

「米国最大のセキュリティ会社の1つである当社には、膨大な量の保護すべきテクノロジーがあります。Recovery Manager for Active Directoryによってダウンタイムが34%短縮され、大きな安心感が得られました。」

*Paine Webber*  
ネットワーク管理者  
*Julian Fowler氏*

## メリット:

- ADデータの破損によって生じるダウンタイムと生産性の損失を大幅に低減
- Active Directoryをオフラインにすることなく、シンプルで高速なADリカバリを実行
- バックアップデータと現在の値を比較することによって変更箇所を素早く特定し、時間を節約
- オブジェクト自体が削除されていない場合でも、個々の属性をリストア



Recovery Manager for Active Directorは、高速できめ細かいオンラインのADリカバリを実現します。Recovery Manager for Active Directory Forest Editionは、大規模な障害が発生した場合でもドメインまたはフォレストのリカバリをシンプル化することで、Recovery Managerの価値を高めます。Quest On Demand Recovery for Azure ADを追加すれば、Azure ADおよびOffice 365のセキュアなバックアップとリストアが可能になります。

Recovery Manager for Active Directoryの機能	Recovery Manager for Active Directory Forest Editionの追加によって利用できる機能	On Demand Recovery for Azure ADの追加によって利用できる機能
ネイティブツールとの統合	自動フォレスト・リカバリ・タスク	Azure ADとOffice 365のセキュアなバックアップ
ADオブジェクトの迅速なオンラインリストア	1つのコンソールから、連携するフォレストリカバリを実行	Azure ADとOffice 365の一括リストア
AD属性のきめ細かいリストア	リモート検疫機能	Azure ADユーザ属性のきめ細かいリストア
AD比較レポート	システムの同時リカバリ	バックアップと稼働中のAzure ADの差分をレポート
ADの差分バックアップ	本番データを使用した仮想ラボの作成	AD/Azure ADのハイブリッド環境のリカバリダッシュボード
割り当て	ドメインコントローラーの管理	
自動スケジュール設定によるADのバックアップ	ADフォレスト・ヘルス・チェック	
拡張性と柔軟性の高いバックアップオプション		

「経験が浅くても使いこなせるツールです。何百人ものユーザを削除するときには非常に抵抗を感じますが、マウスをクリックするだけでそれを元に戻せると分かっているので、とても安心です。」

CSC  
Active Directoryサービスマネージャー  
Martyn Dews氏

- **包括的なリカバリオプション** — AD内の任意のオブジェクトをリストアできる唯一のソリューションです。ADオブジェクトには、ユーザ、グループ、コンピュータ、組織単位、サイト、サブネット、構成、Exchangeストレージグループ、グループ・ポリシー・オブジェクト (GPO) などがあります。
- **属性レベルのリストア** — オブジェクト自体が削除されていない場合でも、アカウント設定、グループメンバーシップ、バイナリ属性など個々の属性をリストアできます。このため、他の属性には影響を与えずに、目的の属性だけをリストアできます。
- **Recovery Managerポータル** — Webインターフェイスを使用して、次のことを実行できます。
  - **割り当て:** データ・リストア・タスクを特定のユーザに割り当てる
  - **監視:** 組織内に導入したRecovery Manager for Active Directoryインスタンスを監視
  - **復元:** バックアップからリストアせずにADオブジェクトを素早く復元
  - **検索とリストア機能へのアクセス:** Recovery Manager for Active Directoryの検索とリストア機能へのアクセスが可能
- **拡張性と柔軟性に優れたADのバックアップ** — オフピーク時間にバックアップを実行するようスケジュールを設定し、ドメインコントローラーのシステム状態のバックアップを集中管理します。バックアップデータは集中保存または分散保存が可能です。また、ドメインコントローラー自体に残して、必要な帯域幅を最小限に抑えると共に、あらゆる規模の環境に合わせる事ができます。

- **AD/Azure ADのハイブリッド環境のリカバリ** — Azure AD Connectを使用したハイブリッドAD環境を運用している場合でも、同期されていないクラウド専用のオブジェクトや属性が存在する場合でも、オンプレミスADとAzure ADの両方の可用性と整合性を維持することがセキュリティとコンプライアンスのために重要です。Recovery Manager for Active DirectoryはQuest On Demand Recovery for Azure Active Directoryと統合し、安心をもたらす完全なハイブリッド・リカバリ・ソリューションを提供できるようになりました。

Quest On Demandによって、1つのリカバリダッシュボードでハイブリッドオブジェクトとクラウド専用オブジェクトを区別できるほか、本番バックアップとリアルタイムバックアップの差分レポートの作成や、オンプレミスかAzure AD内かを問わないすべての変更の復元が可能です。

- **回復コンソールのフォールトトレランス** — 回復コンソールの複数のインスタンス間で継続的な設定データを共有しているため、予期しない中断が発生した場合でも、最後の復元動作を迅速に再開できます。

## QUESTについて

Questでは、複雑な問題をシンプルなソリューションで解決することを目的としています。当社は、優れた製品と優れたサービスを大切に、シンプルにビジネスを行うという全体的な目標を重視する哲学をもって、これを達成しています。当社のビジョンは、効率性と有効性のどちらかを選ばなければならないような状況をつくらないテクノロジーを提供することです。これにより、お客様と組織はIT管理の時間を短縮し、より多くの時間をビジネスの革新に費やすことができます。